

どんな一年だったでしょうか

平成 2 4 年も間もなく幕を下ろします。リーマンショック以来続く不況、東日本大震災からの長い復興、見通しがつかない原子力発電所のゆくすえ。世の中は明るい話題に乏しいこの一年でしたが、子どもたちにとって、また、おうちの皆さんにとってどんな年だったでしょうか。

英語の諺に「どの雲にも銀色の裏地あり」“Every cloud has a silver lining”というのがあるそうです。イギリスの詩人、ミルトンの言葉に由来する言い回しなのだそうです。そう、どんな不幸な状態にもよい面があるという意味です。

どんな状況にあっても悲観に暮れるだけではなく、自分の成長を信じて前へ進んでいく。そうした心持が状況を改善してゆきます。困難に遭遇したことを逆にばねにして、よりよい未来を切り開くことができる、そんな子どもたちを育てていこうではありませんか。ちょっと早いですが、よいお年を。

男子バスケット部 3 位!!

雨でサッカーが延期になっていた小学校球技大会。1 2 月の声を聞いてやっと終わりました。東栄小学校は男子ミニバスケットボールが 3 位の成績をおさめました。女子ミニバスは 2 回戦に進みましたが、残念ながら準優勝校に破れました。サッカー部は予選リーグを突破することができませんでしたが、続くフレンドリーリーグでは公式戦での貴重な 1 勝を挙げることができました。

夏の暑さの中、寒さに身のちぢむ中、子どもたちは本当に一生懸命練習に取り組みました。結果はそれぞれでしたが、努力の蓄積は確実に子どもたちを成長させたことと信じます。陰になり日向になり支えてくださった保護者の皆さん、本当にありがとうございました。



車での来校、自粛のお願い

東栄小学校は市内唯一の「肢体不自由児童受け入れ拠点校」です。また、特別支援学級には障がいの重い児童も在籍しています。そうした児童は、歩いての通学が困難だったり、集団での登校が難しかったりします。そこでやむを得ず、保護者の方が自動車での送り迎えをしているのですが……下校時、迎えの車を駐車スペースに入れようとすると、すでに車が止まっていて駐車できないということがああるそうです。

様子を聞くと、習い事などに送っていく際に、学校まで車で迎えに来ているということです。個人懇談会の日にも、たくさん止められていました。学校は基本的に、自動車での来校はご遠慮願っています。公民館など、他の公共施設と違って、駐車スペースに余裕がないからです。本校も来客用駐車場は 3 台分しかありません。

どうしても必要な方に不都合が出ないように、不要不急の自動車でのご来校はご遠慮下さい。東栄小学校の教育の重点目標は「共に生きる心」の醸成です。